

## N-アシルイミンと求核剤の反応に関する検討

1180199 沖西 淳哉

### Reactions of *N*-Acylimine with Nucleophiles

Junya Okinishi

*N*-アシルイミン **4** は高い求電子性と多様な反応性を有し、多岐に亘る多官能化合物を得るための合成試剤としての利用が期待される。特に種々の置換基をイミン炭素上に自在に導入することができれば、多様なアミノ酸誘導体の前駆体への変換も可能である。そのような観点から本研究では、**4** と各種求核剤との反応を行なった。

無水酢酸中、隣接トリカルボニル化合物 **1** とトリフルオロアセトアミド **2** から得られた *N,O*-アセタール **3** に塩基を作用させることにより、*N*-アシルイミン **4** を系中で発生させた。*N*-アシルイミン **4** は実際に高い求電子性を示し、*N,N*-ジメチルアニリンとの反応では、ベンゼン環の付加が進行し対応する四置換メタン誘導体 **5** (Nu = *p*-Me<sub>2</sub>NC<sub>6</sub>H<sub>4</sub>) を与えることを明らかにした。また、他の求核試薬との反応についても検討を行なった。

